



サークル・同好会 活動再開



第49回シルバーゴルフ大会案内

ゴルフ同好会

新型コロナ感染が若い世代に広がり、厳しい状況ですが、感染防止をしっかりとって、恒例のゴルフコンペを開催致します。この頃は秋の気配が感じられると思いますので、友人や仲間を誘って参加下さるようお願いいたします。(但し、シルバー会員に限ります)

記

場 所 東条ゴルフ倶楽部(6組予約済) TEL 0795-46-1155
 日 時 10月4日(月) 9:07スタート
 費 用 9,870円(昼・会食付/但し10人以上)
 会費 1,000円(当日朝集めます)
 締 日 9月23日(木曜日)
 申 込 代表又は幹事に連絡下さい。
 代 表 野入重春
 幹 事 岡田 清

会食は10名以上で成立しますので、会食をしない場合も費用に変更はありません。



幹事 岡田

- 風呂やビール等の飲み物は当日の都合となります。

万一キャンセルされる場合は9月27日までに連絡下さい
 (9月28日以降はキャンセル料が発生する場合があります)

ハイキングのご案内

シルバーハイキング同好会「さんぽ」会

ハイキング同好会「さんぽ」会の活動を10月例会(毎月第3土曜日)より再開します。
 今後連絡網確保のためメンバー制としますのでご協力をお願いします。

- ・「さんぽ」会への会費は不要です。会員でなくても例会に参加いただけます。
 - ・「さんぽ」会メンバーでなくても例会に参加いただけます。
 - ・悪天候時、緊急事態時の連絡は「さんぽ」会メンバーのみとします。
- 「さんぽ」会メンバー登録は例会参加時または土屋宛にご連絡ください。

第127回月例ハイキング

三田を歩く

月 日 10月16日(土) 雨天中止します。
 集合場所 神戸電鉄ウッディタウン中央改札口付近
 集合時間 AM 9時30分 時間が来れば出発します。
 持ち物 雨具・弁当・水筒・防寒衣など マスク着用のこと

行 程 神鉄ウッディタウン中央改札口前 ⇒ 平谷川遊歩道 ⇒ 天理教三田 ⇒ 有馬GC前 ⇒
 ヒノマルガーデン ⇒ 学園7丁目神姫バス方転場 ⇒ 学園東公園 ⇒ 駒ヶ谷運動公園 ⇒
 神鉄ウッディタウン中央駅

歩行距離 約7km
 交通費 0円
 参加費 300円(保険料等に充当)

コロナ対策の上、ご参加ください。

前日21時の天気予報で、降雨確率が60%以上であれば中止します。
 コースは、その日の状況で変更することがあります、予めご了承ください。

お問合せは、土屋まで

サークル・同好会 例会開催予定表

9月15日～10月20日

(サ)サークル室 (多)多目的室 (作)軽作業室 (外)外部

日	月	火	水	木	金	土	時間帯
			15日	16日	17日	18日	
			コーラス(多)	オカリナ(多)～PM 大正琴(作) 尺八(サ)			午前 午後
19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	
			コーラス(多) フォトさんだ(サ) 書道(多)		ひばり(作)～PM 大正琴(サ)		午前 午後
26日	27日	28日	29日	30日	1日	2日	
				オカリナ(多)～PM 尺八(サ)	ひばり(作)～PM		午前 午後
3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	
	折り紙(多)			オカリナ(作)～PM 尺八(サ)			午前 午後
10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	
		ひばり(作)～PM	コーラス(多) 手作りコットン(サ)～PM 書道(多)	オカリナ(サ)～PM 大正琴(作) 尺八(サ)			午前 午後
17日	18日	19日	20日				
			コーラス(多) つくし(作)				午前 午後

※ 都合により変更される場合があります。

サークル・同好会代表 連絡先

(活動の詳細は下記代表までご連絡下さい)

ひばり会 岩 本
書道 西 本
尺八 倉 鋪
つくし(詩吟) 中 島

「さんぽ」会 土 屋
大正琴 桑 室
フォトさんだ 清 水
オカリナ 武 川

ゴルフ 野 入
コーラス 平 野
手作りコットン 浦 部
折り紙 油 井

シルバークイーンの広場

会員の慶弔給付について・・・

シルバー人材センターでは、会員の福利厚生の一環として、慶弔給付金の給付を行っています。

基本的に、米寿祝金以外は、本人または、家族からの申請によって給付されることとなっていますので、ご家族にもご周知いただければと思います。

給付金の申請、詳細に関するお問合せは事務局(担当:長田)までお願いします。

【給付金の種類】

- ・ 米寿祝金 ・ 結婚祝金
- ・ 弔慰金(本人、配偶者)
- ・ 見舞金(入院、災害)

「リトル・フォレスト 夏秋」(2014年) 「リトル・フォレスト 冬春」(2015年)

東北のとある田舎で、自給自足の生活をする女の子の1年間の話。
田畑を耕し、季節の野菜や野山の実りを使って、料理やお菓子を作ったり、自然の中でのびのびと暮らす様子が描かれています。
無駄のない、かつての日本の生活風情がそこにあります。
昭和時代の思い出と重なると共に、自給自足生活もいいなあ・・・と憧れてしまいます。

